

9月定例市議会が開かれました

中村市長の所信表明



9月定例市議会が、9月3日から17日まで開かれました。はじめに、中村市長が、市政に取り組む所信表明を行った後、平成20年度一般会計補正予算などが上程され、いずれも原案のとおり可決されました。

平成20年9月定例市議会が開催されるのにあたり、今後の市政運営についての所信の一端を申し上げ、議員各位ならびに市民の皆様のご理解とご協力をお願いするものであります。

竹安徹議員、佐名木知信議員におかれましては、このたびの市議会議員補欠選挙において、めでたくご当選されましたことを、心よりお喜び申し上げます。私も、再び市政の重責を担わせていただくこととなりましたが、無投票での再選という結果に、よりその責任の重大さを痛感いたしており、新たな気持ちで市勢進展のために全力投球してまいり所存であります。

2期目の市政のスタートにあたり、このたびの市長選挙で掲げた公約を中心に、あらためて私の市政に取り組む基本的な考え方を申し述べます。

私は、市長に就任以来一貫して申し上げておりますとおり、「公明正大」を政治理念に置き、真に市民の立場・視点に立った公平公正な市政運営に徹しながら、「市民と共に築く風格あるまち」をめざしてまいります。

その上で特に、「海と空の港」を活かした連携の強化による、地域の活性化に取り組みます。

境港市の最大の特性は、重要港湾、国際空港、特定第三種漁港を持つことです。

これらは、ひとり境港市に限らず、中海圏域や山陰地方の将来にとって極めて重要な切り札となり得る大きな社会基盤です。

その能力は、広範囲にわたる利活用があつてこそはじめて発揮されるものでありますので、より広範な規模での「連携」の強化が不可欠です。

そこで、これまで以上に広い視点から本市の発展をとらえ、周辺のまちとの連携によって「海と空の港」の活用を強力に進め、共によりよい広域圏を創り上げ、圏域全体の繁栄をめざしてまいります。

「連携と共栄」をキーワードに市政運営を推進して、将来へ夢と希望もてるまちづくりに邁進いたします。

そして、「市民と共に築く風格あるまち」に向けて、次の5

つの重点施策に取り組みます。すなわち、

1. 連携強化による一体的発展
2. 全国ブランドである『さかな』と『鬼太郎』を活かした経済振興
3. 一人ひとりを大切にした教育と福祉の充実
4. 安心で住みよい生活基盤の充実
5. 市民との連携による誠実な行政運営

1. 一体的発展

日本海定期貨客船航路の開設や港湾整備など、境港と米子空港を核とする「北東アジアに向けた表玄関」への取り組みを進めるとともに、将来の道州制に備えるためにも、中海市長会を中心とした圏域連携事業など、地域特性を活かした周辺自治体等との連携強化による、地域の一体的発展をめざします。

具体的には次のような取り組みを進めます。

日本海定期貨客船航路の開設と港湾整備の促進

環日本海拠点都市会議での長年の悲願であった、境港と対岸を結ぶ日本海定期貨客船航路の実現性が高まっております。

この航路の実現は、中海圏域を中心とした広範な地域の活性化にとって、新たな起爆剤となり得るものであり、この機をとらえて、旅客船バスなどの港湾施設の整備を加速させるとともに、鳥取県や境港貿易振興会など関係機関と連携して、強力にポートセールスを行い、西日本一円からの積荷の確保と誘客に努めます。また、中海圏域の各自治体とともに、外国人観光客の受け入れ態勢等の整備についても進めてまいります。



H20. 8. 27 米子市で開催された環日本海拠点都市会議

市民レベルの国際交流の促進

米子—ソウル便に加え、日本海定期貨客船航路の実現は、地域の国際化をさらに進めるものと期待されます。

当圏域と対岸諸都市との人的交流が一層活発化するよう、行政や経済交流のみならず、市民が主体となつて取り組まれている、文化・スポーツ交流、ホームステイ、語学講座や異文化交流イベントなど、多方面にわたる交流活動を積極的に支援し、圏域全体で促進してまいります。